

## 目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
北海道	シトクチョウ 新得町	クワケ 屈足	平成25年度	平成27年度	新得町

## I 経営体毎の成果目標の未達成理由等

No.	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた具体的な改善措置 及び 目標達成見込時期等
3	農産物の高付加価値化 (小豆の新品種導入)	新品種導入への意欲はあり、平成26年から病害に強く耐冷・多収品種を導入してはいるが、近年小豆の価格が下落し、回復の兆しも見えない中では経営を圧迫することが懸念されている。そのような状況であるため作付面積を縮小せざるを得ず、目標達成ができなかった。(達成率「新品種導入:0%」「平均単収:0%」)	小豆の情勢が平成29年以降回復傾向となる兆しが見えてきたことから、経営状況等を考慮した上で本年は5ha弱を作付している。目標達成は困難ではあるが、本年度での(概ね)達成を目指す。

## II 地区の成果目標(必須目標)毎の未達成理由等

成果目標項目 (必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置 及び 目標達成見込時期等
農産物の高付加価値化	上記の通り。	上記の通り。

## III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p><b>1 担い手への農地利用集積について</b></p> <p>農地利用集積の状況を見ると、当該地区では現状、集積率は90%を超えているが、高齢化や後継者のいない経営体も一定数いることから、今後の農地集積のあり方が課題である。農地の出し手となる者の意向を把握しながら、中間管理機構の活用を進めることで担い手への効率的な農地集積を進めて行く。</p> <p><b>2 必要となる中心経営体の育成について</b></p> <p>当該地区では担い手はいるものの十分とは言えず、また高齢化等による農家戸数減に対処するため後継者・新規参入者等担い手の育成確保が必要である。 また、地域の話し合いの中から法人化等の検討も含め、地域農業の維持・活性化を図る必要がある。</p> <p><b>3 人・農地プランの作成・見直し等について</b></p> <p>人・農地プランは、当初町全体を1地区として作成し、その後地域の実情等を踏まえ8地区に細分化したプランを作成。 当該地区は大規模な畜産法人および畑作個人農家が主であるが、高齢化や後継者問題等の課題もあることから、地区のあり方について話し合いを進める中から見出していくこととする。</p> <p><b>4 その他</b></p> <p>未達成者への達成に向けたフォローアップについて、JAや農業改良普及センター等と連携を図りながら取り組む。</p>
--

## 【記入要領】

1 Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標項目毎に主な理由を記入する。  
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について記入する。

2 IIの「未達成理由の総括」欄については、必須目標となる地区成果目標毎に、未達成理由を総括的に整理する。  
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区成果目標毎に具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。

3 IIIについては、IIで整理した地区成果目標未達成理由等を考慮のうえで、①地区内の担い手への農地利用集積状況や出し手・受け手の現状等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、②地域が必要とする担い手と地域内での役割分担の状況等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、③人・農地プランと現状との乖離状況等を踏まえた具体的な対応策等、④その他の課題と対策等について記入する。